

【炭水化物研究部会】

1, 2 月	GR プロジェクトと、二つの分科会（果糖分科会、ダイエット分科会）を中心に、活動を進める。炭水化物の摂取と健康（肥満、生活習慣病）との関係を、ILSI Japan として明確にすることを目標としている。
3, 4 月	GR プロジェクトと、二つの分科会（果糖分科会、ダイエット分科会）を中心に、活動を進める。炭水化物の摂取と健康（肥満、生活習慣病）との関係を、ILSI Japan として明確にすることを目標としている。
5, 6 月	GR プロジェクトと、二つの分科会（果糖分科会、ダイエット分科会）を中心に、活動を進める。炭水化物の摂取と健康（肥満、生活習慣病）との関係を、ILSI Japan として明確にすることを目標としている。
7, 8 月	GR プロジェクトと、二つの分科会（果糖分科会、ダイエット分科会）を中心に、活動を進める。炭水化物の摂取と健康（肥満、生活習慣病）との関係を、ILSI Japan として明確にすることを目標としている。
9, 10 月	GR プロジェクトと、二つの分科会（果糖分科会、ダイエット分科会）を中心に、活動を進める。炭水化物の摂取と健康（肥満、生活習慣病）との関係を、ILSI Japan として明確にすることを目標としている。
11, 12 月	GR プロジェクトと、2 つの分科会（果糖分科会、ダイエット分科会）を中心に、活動を進める。炭水化物の摂取と健康（肥満、生活習慣病）との関係を、ILSI Japan として明確にすることを目標としている。

*GR プロジェクト

1, 2 月	GR プロジェクト 3 カ年計画の最後の年度終了近くになり、3 年間の成果報告書をまとめた。会員の意見を集約し最終版を仕上げる予定。3 年間の活動終了後に必要な研究・開発について内容の検討を開始した。
3, 4 月	3 月：GR プロジェクト 3 カ年計画の最終年度を 3 月に終了した。 3 月 18 日に最後の定例連絡会を開き、報告書の内容につき合意を得る。また、今後の課題についての検討を行う。 4 月：第 3 年度の報告書を連絡会の合意の通りまとめ、発送した。
5, 6 月	GR 法の多施設評価の内容を、昭和女子大の中西准教授が中心となり検討した。内容の具体化後に、会員へ評価の協力を求める予定。
7, 8 月	GR 測定プロトコルの普遍性を試験するために、GR 参加企業にリング試験への参加を打診した。リング試験の詳細については、9 月 12 日に説明会を開き、決定すべき事項について協議する予定。
9, 10 月	これまでの研究結果を整理し構築した GR 測定プロトコルを用いて、多施設で独立した試験（リング試験）を行う準備をした。昭和女子大学がセンターと機能してもらい、センターより各参加施設にプロトコルおよび試薬を送付した。各施設の試験結果を待っている状況である。
11, 12 月	GR 測定をプロジェクト参加企業に依頼し、多施設での測定結果のバラツキを検討す

	るリング試験を実施した。測定結果を12月20日までに送ってもらい、集計作業を終えた後、2月6日に会合を開き結果の検討を行う予定である。
--	---

*果糖分科会

1, 2月	2月26日に果糖分科会を実施した。Am. J. Clin. Nutr.の果糖に関する文献4報について、内容を検討した。これまで取り組んできたPub Med検索での171文献、Am. J. Clin. Nutr.の14文献などについて、まとめ方についての方針を確認した。
3, 4月	3~4月は特に活動なし。5月13日に分科会を行う予定。
5, 6月	5月13日に果糖分科会を実施した。本分科会の内容を今後2-3回の内にまとめてゆくこと、さらには論文化できるか検討して行くことにした。7月8日の分科会のアジェンダを各メンバーに配信した。
7, 8月	7月8日に果糖分科会を実施した。果糖の代謝については性差がある可能性もあり、この点についても注目して、果糖の摂取と肥満の関係についての文献データを整理する方向でまとめる。
9, 10月	9月12日に果糖分科会を実施した。果糖分科会でこれまでにまとめてきた文献を基に、果糖と肥満に関する関係についてまとめる方向に集約することにした。
11, 12月	果糖と肥満に関する文献調査をとりまとめ、その内容の出版を目指して継続する。

*ダイエット分科会

1, 2月	1および2月は分科会開催せず。GIと摂食量、満腹感の関係を継続調査中。
3, 4月	3月18日に分科会を実施した。GIあるいは食後血糖反応と食欲、満腹感の関する論文2報の内容を検討した。これまでの文献調査結果から、高GI食で“食欲が高い”あるいは“満腹感が持続しない”という場合、食後血糖反応が収束する時の血糖値が0時間値よりも低くなるのではないかと、という仮説を立て、その仮説が正しいかどうかを文献調査から検証し、総説としてまとめ投稿していく予定。
5, 6月	5および6月は分科会実施せず。関連文献を分科会員に割り当て、内容検討を継続中。
7, 8月	7月8日に分科会を実施した。食欲・満腹感と血糖反応の関係を論じた論文紹介を継続して行った。これら文献紹介の結果をまとめ、総説に落とし込む作業を実施していく予定。
9, 10月	9月12日第3回分科会開催。これまでの文献報告をもとに以下の2部構成で作成した総説ドラフト (<i>Glycemic index, appetite, and satiety</i> 2. <i>Glycemic index, leptin, and ghrelin</i>) について今後の方針を討議した。分科会員は、今回の原稿 (Word file) に変更履歴をつけて次回までにチェックすることとした。
11, 12月	これまでの文献報告をもとに以下の2部構成で作成した総説 (<i>Glycemic index, appetite, and satiety</i> 2. <i>Glycemic index, leptin, and ghrelin</i>) を Journal of Nutrition Science and Vitaminology に投稿したことから、ダイエット分科会としては活動を終了し、平成21年度は新規な分科会を発足する予定。